

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【札幌市】

1 実践テーマ	【 I・V 】
2 実施対象者	札幌市立清田南小学校 第5学年 87名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（体育、総合的な学習の時間） ② 行事名（宿泊学習） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	・滝野での野外活動を通して、北海道の冬の自然を楽しみ大切にしようとする心をもつ。 ・1972年の冬季オリンピックについて調べ、近郊の白旗山がノルディック会場であったことなど冬季オリンピック種目に興味をもち、オリンピックスポーツやウインタースポーツに目を向ける。 ・パラリンピック種目に目を向け、誰でもスポーツに親しみ、共に楽しむ態度をもつ。
5 取組内容	○指導計画【体育3時間、総合的な学習の時間20時間扱い】 ・滝野宿泊事前事後学習（10時間） ・オリンピック、パラリンピックについて（5時間） ・滝野宿泊学習当日（5時間） ・パラリンピック種目を楽しもう（3時間） ○取組の様子 ・事前学習では、滝野宿泊学習の全般に関わる取り組み方を中心にスノーシューや歩くスキーなど滝野すすらん公園で盛んに行われているウインタースポーツについて調べた。 ・滝野近郊の白旗山では、1972年に冬季札幌オリンピックノルディック距離競技やバイアスロンなどが行われたことを知り、当時のオリンピック競技を中心としてウインタースポーツについて調べた。また、今回行く大



	倉山はラージヒルスキージャンプ競技が行われていることを知り、スキージャンプについても調べた。  • 現在はオリンピック競技だけではなく、パラリンピック競技も盛んに行われていることを知り、チェアスキーなどをはじめとしたウィンタースポーツやチェアラグビー、チェアフェンシングなどのパラリンピック競技についても調べた。 • 滝野宿泊学習では、実際にスノーシューを履いて雪原を歩く体験をした。「靴で歩くより大変だけど、意外に埋まらないから楽しく歩けた。」と実感をもった。 • ウィンターミュージアムでは、オリンピックの講話を聞き、何事にもあきらめずに最後までチャレンジしていきたい、自分も将来はオリンピック選手になりたい、と希望をもつ子がいた。また、シミュレーターの体験やジャンプ台から景色を見るなど、スキージャンプの迫力を感じた。 
6 主な成果	雪の中で過ごす楽しみ方を知り、ウィンタースポーツへの興味関心を強くすることができた。オリンピックの講話を直に聞き、オリンピック出場に向けた努力の大切さを感じ、日々の生活に生かそうと強い意欲をもつことができた
7 実践において工夫した点	冬の滝野宿泊学習であったので、二日目の活動にウィンターミュージアムでの学習を取り入れ、1972年の札幌冬季オリンピックを実感させ、これからのウィンタースポーツへの期待をもたせた。
8 主な課題等	今回は冬の滝野宿泊学習と絡めた学習であったが、日常的なカリキュラム化に向け、グレンデスキー以外のウィンタースポーツをどう体験させていくかなど、取り組む内容を精査する必要がある。
9 今後の取組について	室内（体育館）で活動できるシッティングバレーなどパラリンピック競技を体験していく。 誰もが誰とでもスポーツに親しむ楽しさを味わわせていく。